

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定)

有識者懇談会概要

日 時：令和6年11月25日(月)14:20~14:50

場 所：総理大臣官邸4階大会議室

出席者：

- (政府) 林内閣官房長官、伊東内閣府特命担当大臣、江藤農林水産大臣、
橋内閣官房副長官、青木内閣官房副長官、佐藤内閣官房副長官、
阪田副長官補、
前島農林水産省農村振興局長、神田農林水産省農村政策部長
(委員) 林座長、織作委員、田中委員、永島委員、藤井委員、向笠委員

概 要：

(林座長)

- ・ 本日は、第11回選定となる「ディスカバー農山漁村の宝」の選定地区の決定並びにグランプリ及び優秀賞の決定について御議論をいただくので宜しくお願いしたい。

【事務局説明及び意見交換】

(前島農村振興局長から、資料に基づき、第11回選定の選定地区並びにグランプリ及び優秀賞の候補について説明。)

(委員からいただいた主な意見は以下のとおり。)

- ・ 環境を考えた取組や高校生の活躍が非常に増えてきており、これは希望が持てる話。
- ・ 今回の選定においてキーワードは「次世代育成」。環境を地域力で作り上げていること、農山漁村の伝統や文化、匠の技を継承することなどが農林水産業の価値を高めていることが伺えた。
- ・ 第1次産業は当事者だけでは守っていけない、消費者や学生、子どもたちが関わることが大事。このことを選定していて強く感じた。
- ・ 地域活性、受賞者の状況も高齢化と人口減少で待ったなしの状況がある。一方、国では受賞者の出展支援を行っているが、今回の受賞者のような優良な地区においても成功を拡大するための早々の支援があるべき。
- ・ 地域で頑張っている事例が選ばれているので、広く国民の方々に知ってもらえるような広報活動をすることに意義がある。地域おこし協力隊のような若い方のサポートが得られると良い。
- ・ 良い内容の応募が増えてきている、特に若い人の応募内容を見て、若い人が自信を

深めていると感じるので、この生産者側の熱意を消費者側に伝えられるよう有識者懇談会としても考えたい。

(林座長)

- ・意見交換を終了する。
- ・第11回選定の選定地区並びにグランプリ及び優秀賞について案のとおり決定することよろしいか。

(異議なしの声)

(林座長)

- ・それでは決定とさせていただきます。

(事務局)

- ・閉会に際して、伊東内閣府特命担当大臣、江藤農林水産大臣、林内閣官房長官から御挨拶賜りたい。

【閉会挨拶】

(伊東内閣府特命担当大臣)

- ・地域の産業を守ろう、起こそう、展開しようという、それも高校生の動きが目立った気がした。そば、ウニ、木材など地元の資源を活用した事例、高校生が取り組んでいる姿に感動した。
- ・石破内閣では、地方こそ成長の主役という発想で、地方創生の取組を進めている。産官学金労言といった多様な主体の連携など地方創生の好事例を普遍化して、広がっていけばと思う。

(江藤農林水産大臣)

- ・村という行政単位がとても大切。この村というものがなくなった時に、日本の伝統や文化、自然環境等が守られるのかを考えると、このディスカバー農山漁村の宝はとても大事だと思う。
- ・我々は食料・農業・農村基本法を改正して、これから基本計画を作っていくが、これまでの農政をこのまま継続するのではなく、大きな転換を図っていかないといけない。これからの5年間を農政改革の集中期間として対応していく。
- ・農山漁村で頑張っている人たちをいかに応援するか、賞という名誉だけではなく、これをいかに国民に共有できるか、失ってはいけないものということを理解いただけるかなど、まさに正念場に来ている。
- ・委員の方のような民間の知恵と行政としての責任をいかに果たしていくか問われている。こういった機会をしっかりと捉えて、農林水産省としても選定地区の取組

を横展開して、国民に認知をされて、そして日本の伝統文化が次の世代に引き継がれていくように努力したい。

(林内閣官房長官)

- ・平成 26 年に、私が農林水産大臣として、このプロジェクトを立ち上げて以来、先年までに 315 件の取組を選定され、多様な関係者の連携、観光事業と連携した高付加価値化、ブランド化の推進などによる農山漁村の雇用・所得の創出といった取組が継続・強化されてきたことを力強く思う。
- ・本年は 496 地区の応募の中から 30 地区を選定頂いたが、地域資源の「そば」を観光資源にして、若者が主体となり、地域の魅力向上に取り組む「北海道幌加内高等学校」など素晴らしい事例が多くあった。
- ・石破内閣では、地方創生を最重要課題の一つとして位置づけており、それぞれの農山漁村が有するポテンシャルを引き出し、地域の活性化と所得向上につなげていくことが重要。
- ・農林水産大臣は、今回選定された先進的な取組を他の地域でも応用できるようにするには、どのような点が重要になるかを洗い直し、そうした点を含め、各地域の工夫や熱意を広く発信して頂きたい。引き続き委員の皆様のお協力をお願いしたい。

【閉会】

(以上)